

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称: □

公衆浴場における
ボイラ高効率化による排出削減事業
(方法論001)

排出削減事業者名 :
有限会社恒心

排出削減事業共同実施者名 :
J-クレジット制度事務局
(平成28年度受託者: みずほ情報総研株式会社)

その他関連事業者名 :

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	有限会社恒心
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	こうしんの湯
住所	〒 065 - 0031 北海道札幌市東区北30条東19丁目1-1
排出削減事業共同実施者	
排出削減事業共同実施者名	J - クレジット制度事務局
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

公衆浴場におけるボイラ高効率化による排出削減事業。

2.2 排出削減事業の目的

A重油焚温水ボイラを、都市ガス焚温水ボイラへ設備更新し、高効率化することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

A重油焚温水ボイラを、都市ガス焚温水ボイラへ設備更新し、高効率化することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008 年 10 月 1 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013 年 4 月 1 日
～ 2016 年 9 月 30 日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

なし

4.2.2 活動量の採用根拠

なし

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

本事業のバウンダリーは、燃料供給設備までとする。

5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.1項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 ・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel,i,PJ}$	事業実施後燃料の使用量	千Nm ³	【2013年度】 182.2 【2014年度移行】 486.5	都市ガス供給会社の請求書を確認する。	
$F_{fuel,i,PJ}$	事業実施前のボイラーの エネルギー消費効率	%	71.9	カタログ値をもとに算定 (高位発熱量基準)	
ϵ_{PJ}	事業実施後のボイラーの エネルギー消費効率	%	82.3	カタログ値をもとに算定 (高位発熱量基準)	
$HV_{fuel,i,PJ}$	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千Nm ³	【2013年度】 44.0 【2014年度移行】 46.4	J-クレジット制度のデフォルト値	
$CF_{fuel,BL}$	事業実施前燃料の単位発熱量当 たりの炭素排出係数	t-CO ₂ /GJ	0.07080	J-クレジット制度のデフォルト値 (A重油)	
$CF_{fuel,i,PJ}$	事業実施後(燃料転換後) 燃料の 単位発熱量あたりの炭素排出係 数	t-CO ₂ /GJ	0.05170	J-クレジット制度のデフォルト値 (都市ガス)	

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
182.2	44.0000	0.0517	414.5
486.5	46.4	0.0517	1,166.9
千Nm ³	GJ/千Nm ³	t-C/GJ	t-CO ₂
EM _{PJ}			1,581.5

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
895.5	39.1	0.0708	2,479.0
kl	GJ/kl	t-CO ₂ /GJ	t-CO ₂
EM _{BL}			2,479.0

7.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO ₂ 排出量
			0
LE			0

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	削減量
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	2,479.0
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	1,581.5
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	897

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン － 実績 (①－②)
903.4	789.2	114.2

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

$$\text{省エネ量} = 903.4 \text{ (kl)} - 789.2 \text{ (kl)} = 114.2 \text{ (kl)}$$

9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間		2013	年	4	月	1	日	
		～		2016	年	9	月	30	日	
		エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)			原油換算 (kl)		
		(実績)			(実績)			(実績)		